

第4学年 図画工作科学習指導案

展開場所 図工室、児童会室

1 題材名 ようこそ!幸せなまちへ!(立体)

2 題材について

本題材は、街や建物のイメージを膨らませながら、段ボールを扱った経験を生かして表し方を工夫したり、進んで友達と協力してつくりだしたりする題材である。本学級の児童は、3年生のときに段ボールの板を切ったり組み合わせたりした経験がある。そのときの活動を想起させ、本題材では友達と協力して製作する楽しさを味わえるようにしたい。また、広い場所で大きい物を友達とつくり上げていく楽しさも感じてほしい。児童が「やさしく」「なかよく」協力して「幸せ」な街づくりに取り組めるようにしたい。「幸せ」な感じを形で表現し、友達とイメージを共有したり刺激し合ったりしながら、街づくりを楽しめるようにしていきたい。

本題材では、友達と協力し、大きな材料に働きかけ、思い付いたつくりたい形に向かって工夫しながら活動することを目標としている。これは、学習指導要領の目標(1)「対象や事象を捉える造形的な視点について自分の感覚や行為を通してわかるとともに、手や体全体を十分に働かせ材料や用具を使い、表し方などを工夫して、創造的につくったり表したりすることができるようにする。」(2)「造形的なよさや面白さ、表したいこと、表し方などについて考え、豊かに発想や構想をしたり、身近にある作品などから自分の見方や感じ方を広げたりすることができるようにする。」(3)「進んで表現したり鑑賞したりする活動に取り組み、つくりだす喜びを味わうとともに、形や色などに関わり楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養う。」また、内容(1)イ「絵や立体、工作に表す活動を通して、感じたこと、想像したこと、見たことから、表したいことを見付けることや、表したいことや用途などを考え、形や色、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考えること。」(2)イ「絵や立体、工作に表す活動を通して、材料や用具を適切に扱うとともに、前学年までの材料や用具についての経験を活かし、手や全体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表す。」ことにあたる。児童なりに幸せな街を想像し、友達と大きな街をつくりだしていくことを通して、視野を広くもち自分たちの住む実際の街への関心も高まるとよい。

本題材では、段ボールを多く使う。段ボールは身近な材料ではあるが、児童にとって荷物をしまうための箱であり自分より小さい印象が強い。そこで、街をつくる際には、自分より大きな街や建物にしていくため、体全体を使って製作できるように大きめの段ボールを用意する。また、段ボールの折り方や切り方、組み方、接着の仕方を習得させ、自分の思い通りに材料や用具が扱えるようにする。そこで、段ボールを積む、並べる、立てる、組み合わせるなどを促すことで、イメージを広げたり、面白い形を思い付いたりできると考える。さらに、友達と活動を見合ったり、共に製作したりするように声かけし、形の面白さや作り出す楽しさを味わえるようにしたい。安全面において、段ボールカッターの扱い方に気を付けさせ、友達や押さえている手などがいないか十分確認をするように指導する。また、用具は置く場所を決める、高いところを製作する場合は周囲に気を付けて友達に補助してもらうなど、安全に活動できるように図工室の決まりを徹底する。

3 題材の目標

(1) 段ボールの大きな街をつくる時の感覚や行為を通して、形の感じ、組合せによる感じがわかる。

(知識・技能)

(2) 形の感じ、組合せによる感じを基に幸せな街を想像しながら、建物の形を考えることができる。

(思考・判断・表現)

- (3) つくりだす喜びを味わい進んで協力して、段ボールを使った大きな街をつくる活動に取り組もうとすることが出来る。
(主体的に学習に取り組む態度)

4 題材の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
○段ボールを使った大きな街をつくる時の感覚や行為を通して、形の感じ、組合せによる感じに気付いている。 ○段ボール、段ボールカッターなどを適切に扱うとともに、ボンド、ガムテープなどについての経験を生かし、手や体を十分に働かせ、表したいことに合わせて表し方を工夫して表している。	○形の感じ、組合せによる感じなどを基に、自分のイメージをもちながら、幸せな街の様子を想像したことから、表したいことを見付け、形、材料などを生かしながら、どのように表すかについて考えている。 ○自分たちの作品の造形的なよさや面白さ、表したいこと、いろいろな表し方などについて、感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を広げている。	○つくりだす喜びを味わい進んで協力して、段ボールを使った大きな街をつくる活動に取り組もうとしている。

5 指導と評価の計画(全 6 時間)

時間	ねらい・学習活動	評価の観点、評価の方法等						備考
		知	技	思		態		
		知識	技能	発想や構想	鑑賞			
1	○幸せな街の建物や街をイメージし、つくりたい街の想像を膨らませる。			○ ワークシート				イメージを絵や言葉で表現させ、児童のイメージを把握し、指導に生かす。
2	○段ボールや段ボールカッターの適切な扱い方を確認する。	◎ 観察	◎ 観察					3年生の経験を基に、段ボールの組み方や接着の仕方を振り返る。
3 (本時)	○段ボールの組合せ方を試しながら街をつくる。	◎ 観察	◎ 観察 作品	○ 観察 ワークシート				製作活動で「知識・技能」の視点で児童の学習状況を把握する。
4 ～ 5	○段ボールの組合せ方や飾り方を工夫して幸せな街をつくる。 ○建物を並べたり組み合わせたりして、友達と協力しながら大きくて幸せな街をつくる。	○ 観察 作品	○ 観察 作品	◎ 観察 対話 作品 ワークシート	○ 観察 対話		↓	「思考・判断・表現」の視点で、児童の学習状況を把握し、記録に残す。 「主体的に学習に取り組む態度」は、友達と協力しながら街全体に視野を広げて活動しているかを把握する。
6	○幸せな街を探検しながら、作品のよさや面白さを味わう。				◎ 観察 対話	◎ 観察 対話		鑑賞では、自他の作品のよさや面白さから自分の見方や感じ方を広げているかを記録に残す。「主体的に学習に

					ワークシート	ワークシート	取り組む態度」は、活動全体を通して把握し、最後に記録に残す。
--	--	--	--	--	--------	--------	--------------------------------

6 材料と用具

材料	用具
段ボール、ロール紙など	段ボールカッター、木工用ボンド、ガムテープ、洗濯ばさみ、直角定規

7 本時の指導

(1) 本時の目標

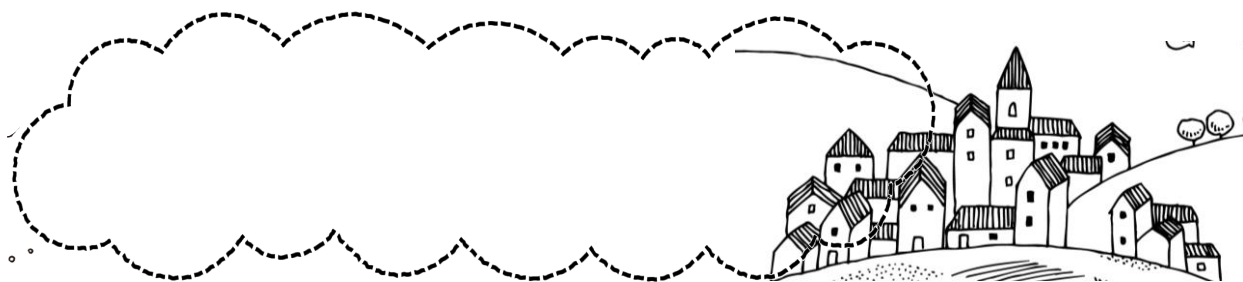
○段ボールを積む、並べる、立てる、組み合わせるなどを試しながら、形の感じや組合せによる感じを生かし建物を工夫してつくることができる。(知識・技能)

(2) 展開 (3/6)

学習活動と内容	教師の支援と評価(◆)	資料
1 本時のめあてをつかむ。	○本時のめあてと活動の進め方を確認する。 ○自分の幸せな街のイメージを想起させる。 ○箱型、板状、大きさ、長さなどに着目させる。	・段ボールの組合せ方掲示
段ボールの組合せ方を試しながら、建物をつくろう。		
・どんどん積んで高い建物をつくろう。 ・段ボールを折り曲げて大きな屋根のある家にしようかな。 ・段ボールを横につなげたら長いトンネルができそう。	○折る、曲げる、切り込む、差し込む、穴を開けるなどの様々なアプローチができることを確認する。 ○段ボールを積む、並べる、立てる、組み合わせるなどを試しながら活動していくように促す。 ○用具の扱い方には十分気を付けるよう確認する。	
2 段ボールの組合せを試しながら、建物をつくる。	○友達と協力しながら表したいことを思い付くことができるように、友達とつくってもよいことを提案する。 ○試しながらつくっている児童や形のよさや面白さを見付けて工夫している児童を紹介する。 ◆試しながら形の感じや組合せによる感じを生かし工夫してつくっている。 (知識・技能)	・段ボール ・段ボールカッター ・木工用ボンド ・ガムテープ ・洗濯ばさみ ・直角定規

ようこそ！幸せなまちへ！

4年 組 ()



「幸せ」なまちにはどんなものがあるかな。

つくりたいまちのイメージを絵や言葉でかいてみよう。